

# 第74回地域農林経済学会大会（立命館大学大会）のご案内＝第2報＝

2024年10月07日  
地域農林経済学会

第74回大会を下記の要領で開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

**1. 期 日** 2024年10月26日（土）～10月27日（日）

## 2. 日程および会場

### 2-1. 開催地 立命館大学 衣笠キャンパス

住 所 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1  
連絡先 河村 律子 E-mail: ritsuko@ir.ritsumei.ac.jp  
工藤 春代 E-mail: k-haruyo@fc.ritsumei.ac.jp  
高篠 仁奈 E-mail: ninat@fc.ritsumei.ac.jp

#### ★ オンライン配信について

大会シンポジウムと国際シンポジウムについては、Zoomによるリアルタイムオンライン配信を予定しています。総会、理事会他は現地のみにて開催します。

（個別報告について、今年度はオンライン対応を実施いたしません）

### 2-2. 全体プログラム

#### 【第1日】10月26日（土）個別報告・大会シンポジウム・総会

- 個別報告 [ 9:00～12:00] (敬学館 2階・受付 8:30～)
- 会長講演 [13:00～13:15] (大会シンポジウム内)
- 大会シンポジウム [13:00～17:00] (敬学館 KG208 教室)
- 総会 [17:00～18:00] (敬学館 KG208 教室)
- 懇親会 [18:30～20:30] (諒友館地下 カフェ Rosso)

#### 【第2日】10月27日（日）個別報告・国際シンポジウム

- 個別報告・特別セッション [ 9:30～15:00] (昼休憩を含む)  
(存心館 3階・受付 9:00～)
- 国際シンポジウム [10:00～12:30] (存心館 ZS310 教室)
- 特別企画 [12:30～13:30] (存心館 ZS310 教室)

#### 【その他】10月25日（金）

- 編集委員会 [17:00～18:00] (存心館 ZS307 教室)
- 理事会 [18:00～20:00] (存心館 ZS310 教室)

#### 10月26日（土）

- 大会シンポジウム打合せ [12:00～13:00] (敬学館 KG215 教室)
- 個別報告優秀賞  
打ち合わせ会議 [ 8:30～ 8:50] (敬学館 KG216 教室)
- 審査委員会 [12:10～12:50] (敬学館 KG216 教室)
- 新理事会 [18:00～18:30] (敬学館 KG212 教室)

#### 10月27日（日）

- 国際シンポジウム打合せ [ 9:00～10:00] (存心館 ZS310 教室)

## 2-3. 参加費

現地参加の場合

大会参加費（不課税）：普通会员（地域農林経済学会・日本有機農業学会）	3,000 円
非会員	4,000 円
学生（会員資格を問わず）	1,000 円
懇親会費（予価・税込）：普通会员	6,000 円
学生会員	3,000 円

オンライン参加の場合

大会シンポジウム（zoom webinar）・国際シンポジウム（zoom meeting）：無料

## 2-4. 大会および懇親会参加の申し込み

現地会場において大会および懇親会に参加される方は、以下のフォームから期日までに申し込みをお願いいたします。



**大会・懇親会参加申し込み**（締め切り日時：10/18（金）23:59）

URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/bd23a4e788440>

## 2-5. 個別報告等の申し込み、各問合せ先に関して（地域農林経済学会会員に限る）

受け付けフォーム（個別報告・個別報告用プレゼンファイル・個別報告論文予稿）が開されました。各サイトの申込フォームから期日までに申し込みをお願いいたします。

~~個別報告申し込みおよび要旨提出~~（~~締め切り日時：8/19（月）23:59~~）

~~URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/ebc136a9173043>~~

**個別報告用プレゼンファイル（PDF）の提出**（締め切り日時：10/18（金）23:59）

URL : <https://business.form-mailer.jp/fms/9b6f3b99173045>

**個別報告論文予稿の提出**（締め切り日時：10/18（金）23:59）

URL : <https://business.form-mailer.jp/fms/2e5e7cff173044>

※詳細・各パスワードは、【申込要領】を参照ください。

個別報告申し込み、個別報告優秀賞応募に関する問い合わせ先

[arafe-plan2023@googlegroups.com](mailto:arafe-plan2023@googlegroups.com) 地域農林経済学会企画担当理事

個別報告論文予稿に関する問い合わせ先

[editors-arfe@nacos.com](mailto:editors-arfe@nacos.com) 地域農林経済学会常任編集委員会

## 2-6. 特別セッションの申し込みに関して（地域農林経済学会会員に限る）

本大会では、特別セッションを募集いたします。特定のテーマや研究手法に関して研究者間において議論を行う事を目的としたものです。プログラムは個別報告のスケジュールとともに編成いたします。特別セッションの申し込みを希望される場合には、代表者による申し込みと、タイトル・座長・報告者を明記した特別セッションの要旨の提出をお願いします。受け付けフォームと締め切り日時は以下のとおりです。

~~特別セッション申し込みおよび要旨提出~~（~~締め切り日時：8/19（月）23:59~~）

~~URL : <https://business.form-mailer.jp/fms/584837a6243766> PW【20240819】~~

★ ~~特別セッション要旨のフォーマットについては、個別報告のものに準じます。詳しくは学会企画担当理事（[arafe-plan2023@googlegroups.com](mailto:arafe-plan2023@googlegroups.com)）にご連絡ください。~~

### 3. 大会シンポジウム

10月26日(土) [13:00~17:00]

第73・74回大会統一テーマ「みどりの食料システム戦略と有機農業の可能性」

第74回大会シンポジウムテーマ

「みどりの食料システム戦略と有機農業技術普及の課題：研究開発と実践の現段階」

第73回および第74回大会では、統一テーマとして「みどりの食料システム戦略と有機農業の可能性」を設定している。昨年度大会では、「みどりの食料システム戦略と有機農業技術普及の課題：欧州の経験と示唆」をテーマとして、講演会形式にて、わが国における有機農業技術普及の可能性を国際的な視野も含めて検討し、みどりの食料システム戦略(みどり戦略)に関連した農林業問題研究の現代的課題を共通認識として位置付けた。

今年度大会では、みどり戦略のもとでのわが国における有機農業技術普及の可能性を展望するため、その具体的な研究開発の動向と今後の施策の方向性について整理し、特に、規模拡大を志向した経営展開の事例をもとに、新技術の開発と政策的サポートに求められる解決すべき課題を共有する。そして、わが国における有機農業の技術的・経営的な普及可能性を展望する。

座長：山田洋文（地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部 中央農業試験場）

第1報告「農研機構における有機農業技術開発プロジェクトの現段階と課題」

島義史（国立研究開発法人 農研機構 NARO 開発戦略センター）

第2報告「みどりの食料システム戦略の実現と有機農業の推進について」

松本賢英（農林水産省 農産局 農業環境対策課）

第3報告「大規模稲作における有機栽培の生産技術と市場対応の実践課題」

大嶋康司（株式会社大嶋農場）・大學寛和（農研機構企画戦略本部）

第4報告「大規模露地野菜作経営における有機野菜の栽培技術と販売戦略

—新篠津つちから農場株式会社の有機たまねぎを事例に—

房安功太郎（農研機構北海道農業研究センター）・中村好伸（新篠津つちから農場株式会社）

コメンテーター 新井祥穂（東京農工大学）・柴崎浩平（兵庫県立大学）

### 4. 個別報告

10月26日(土) [9:00 ~ 12:00] (個別報告優秀賞対象報告を含む)

10月27日(日) [9:30 ~ 15:00] (特別セッションを含む)

両日ともに、終了時刻は変更することがあります。

- 1) 報告は1件につき、30分（報告20分、質疑応答10分）を予定しています。
- 2) 同一筆頭報告者による報告は一報告に限ります。
- 3) 共同報告の場合は、原則として、筆頭報告者が報告しなければなりません。
- 4) ~~個別報告の申込方法、個別報告論文投稿等については【申込要領】1・2を参照願います。~~
- 5) ~~個別報告優秀賞は、大会時点（2024年10月26日）で37歳未満の若手会員が対象です。個別報告優秀賞応募の方法については、【申込要領】3を参照願います。~~

## 5. 国際シンポジウム（後援：日本有機農業学会） 10月27日（日）[10:00～12:30]

**2024 International Symposium of  
the Association for Regional Agricultural and Forestry Economics  
sponsored by the Japanese Society of Organic Agriculture Science**

**Scaling up Agroecology from the Policies to Practices:  
Transforming Our Research and Education Systems**

「政策および実践におけるアグロエコロジーの普及  
－われわれの研究・教育システムを転換する－」

座長：増田忠義（近畿大学）

司会：関根佳恵（愛知学院大学）・高篠仁奈（立命館大学）

### Concept of the Symposium

To transcend the global challenges such as climate change, biodiversity loss, hunger, social inequality and so on, the United Nations initiated the Scaling Up Agroecology Initiative at the Second International Symposium on Agroecology held in Rome in 2018. Echoing to this initiative, the countries in the Global North recently launched their respective new agri-food policies that state to transform their current food systems towards more sustainable ones. The European Green Deal in 2019 and Farm to Fork Strategy in 2020, the United States' Innovation Agenda in 2020, Japan's Strategy for Sustainable Food Systems (MIDORI) in 2021 are the parts of these efforts.

While the transformation of our agri-food research and education systems in public and private research institutions, universities, agricultural colleges and high-schools, extension centers are essential to achieving the goals declared in the above mentioned green agri-food policies or transcend them, the speed of paving the roads is heterogeneous among countries and regions. For example, Japan is one of the countries that need scale up and scale out its transformation of agri-food research and education systems.

Against this backdrop, the ARAFE organizes two consecutive international symposia on "Scaling Up Agroecology from Policies to Practices" in 2023 and 2024. In the international symposium of 2024 focuses on "Transforming Our Research and Education Systems". We invite three speakers who involved in the transformation of agri-food research and education systems in the UN, EU, and the US with interdisciplinary approaches.

Symposium Organizers: Executive Board Members for Internationalization of  
the Association for Regional Agricultural and Forestry Economics

Assoc. Prof. MASUDA Tadayoshi (Kindai University)

Prof. SEKINE Kae (Aichi Gakuin University)

Assoc. Prof. TAKASHINO Nina (Ritsumeikan University)

Welcome Address: President of ARAFE, Prof. AKITSU Motoki (Kyoto University)

President of JSOAS, Prof. KOMATSUZAKI Masakazu (Ibaraki University)

- Presentation 1: Advancing Agroecology through Policy Dialogue and Advocacy at Different Levels: Focus on Initiatives Supported by FAO  
Mr. FERRAND Pierre  
(Food and Agriculture Organization of the United Nations: FAO)
- Presentation 2: The 'Agroecological Turn' in French Agronomic Research: New Areas of Knowledge and New Training Practices  
Dr. CHIFFOLEAU Yuna (The National Institute for Research on Agriculture, Food and the Environment: INRAE)
- Presentation 3: Agroecological Research, Extension, and Education in California: A Case of the University of California, Santa Cruz  
Dr. MURAMOTO Joji (University of California, Santa Cruz)
- Commentators: Prof. KANEKO Nobuhiro (Fukushima University)  
Assoc. Prof. TANIGUCHI Yoko (Setsunan University)
- Concluding Remarks: Assoc. Prof. MASUDA Tadayoshi (Kindai University)
- Closing Remarks: Vice President of ARAFE,  
Prof. MAHARJAN Keshav Lall (Hiroshima University)

なお、質疑応答では日本語でも行うことができます。

## 6. 特別企画 10月27日(日) [12:30~13:30]

### ランチョンセミナー

「農林水産業発展のカギは知的財産にあり！～知れば天国，知らねば地獄～」

報告者：農林水産省 輸出・国際局知的財産課 平川 さやか

日本の農林水産分野には、優良な植物新品種や地理的表示をはじめとする様々な種類の知的財産が存在します。知的財産は、日本の農業に国際的な優位性をもたらす強みの源泉ですが、近年、植物新品種の種苗が海外に流出しているといった報道もなされています。本セミナーでは、農林水産分野にどのような知的財産があるのか、それぞれどのように保護・活用されているのかを具体的な事例を交えてご紹介します。

- ★ 昼食等の持ち込みが可能な「ランチョンセミナー」として企画しました。研究シーズの探索、政策・制度の最新情報へのアクセスなど、カジュアルな情報交換の機会として、積極的に議論にご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

## 7. その他連絡事項

### (1) 宿泊について

事務局では斡旋いたしません。各自でご予約ください。観光シーズンなので早めに予約をされることをお勧めします。

### (2) 昼食について

10月26日(土)、27日(日)は、生協購買部、食堂などすべて閉店しており、キャンパス内で食事を調達することができません。近隣にはコンビニが1件あるのみで飲食店はほとんどありません。両日とも、各自で昼食をご持参ください。一般参加者向けに弁当販売はいたしませんのでご注意ください。

### (3) 立命館大学衣笠キャンパスへの交通手段について

会場までのアクセスについては、以下のアクセスマップや立命館大学 HP のアクセス情報（衣笠キャンパス）をご参照ください。

<<https://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/kinugasa/>>

## アクセスマップ



- JR・近鉄京都駅から  
市バス 50 にて 42 分，市バス・JR バス快速立命館にて 36 分，「立命館大学前（終点）」下車  
市バス 205 にて 38 分，「衣笠校前」下車，徒歩 10 分  
JR バス 高野・京北線にて 30 分，「立命館大学前」下車
- JR 円町駅から  
市バス・JR バス快速立命館にて 8 分，「立命館大学前（終点）」下車  
市バス 15 にて 10 分，臨にて 9 分，「立命館大学前（終点）」下車  
市バス 204/205 にて 5 分，「衣笠校前」下車，徒歩 10 分  
JR バス 高野・京北線にて 8 分，「立命館大学前」下車
- 阪急電車西院駅から  
市バス・JR バス快速立命館にて 15 分，臨にて 17 分，「立命館大学前（終点）」下車  
市バス 205 にて 13 分，「衣笠校前」下車，徒歩 10 分
- 京阪電車三条駅から  
市バス 12 にて 53 分，市バス 15 にて 34 分，市バス 51 にて 36 分，「立命館大学前（終点）」下車  
市バス 59 にて 40 分，「立命館大学前」下車

(4) 会場案内 (立命館大学 衣笠キャンパス内)



## 【申込要領】

### 各申し込みの先の URL ・ 提出期限および連絡先一覧

個別報告申し込みおよび要旨提出	(締め切り日時：8/19 (月) 23:59)
URL: <a href="https://business.form-mailer.jp/fms/ebc136a9173043">https://business.form-mailer.jp/fms/ebc136a9173043</a>	パスワード【20240819】
個別報告で用いるプレゼンファイル (PDF) の提出	(締め切り日時：10/18 (金) 23:59)
URL : <a href="https://business.form-mailer.jp/fms/9b6f3b99173045">https://business.form-mailer.jp/fms/9b6f3b99173045</a>	パスワード【20241018】
個別報告論文予稿の提出	(締め切り日時：10/18 (金) 23:59)
URL : <a href="https://business.form-mailer.jp/fms/2e5e7cff173044">https://business.form-mailer.jp/fms/2e5e7cff173044</a>	パスワード【20241018】

個別報告申し込み、プレゼンファイル提出、個別報告優秀賞応募に関する問い合わせ先  
arfe-plan2023@googlegroups.com 地域農林経済学会企画担当理事  
個別報告論文予稿に関する問い合わせ先  
editors-arfe@nacocos.com 地域農林経済学会常任編集委員会

### 1. 個別報告の要旨原稿の様式・申し込み方法等に関して

#### (1) 個別報告の要旨原稿の様式

1. 要旨原稿のフォーマットは、学会ウェブサイト (<https://a-rafe.org/>) の「学会誌」にある個別報告要旨様式 (作成要領・見本) を参照してください。
2. 要旨原稿は、Wordで作成したファイルを、必ずPDFファイルに変換してください (A4版：1枚)。ファイル名は、下記の事例を参照してください。

例) (単独の場合) ○○大学・農経花子.pdf (複数の場合) ○○大学・農経花子他.pdf

また、所属機関の書き方は、下記の事例を参照してください。

例) (社会人の場合) ○○大学, ○○研究所, (大学院生の場合) ○○大学大学院  
(学部学生の場合) ○○大学△△学部, (日振特別研究員の場合) 学振特別研究員・○○大学

★ 個別報告要旨は学会ウェブサイトにアップロードします。

#### (2) 個別報告の申し込み方法

1. 申し込みおよび要旨原稿 (PDFファイル) の提出は、上記URLから行ってください。
2. フォームの「IX個別報告要旨のファイル (PDFに限る) を添付してください。」の欄では、参照ボタンをクリックし、要旨原稿ファイルを選択してください。
3. 「送信する」のボタンを押した後、返信メールが、連絡先メールアドレスに送られる仕組みになっています。数時間たっても連絡先メールアドレスに、受付完了のメールが届かない場合には、再度申請をお願いいたします。
4. 「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」入力についての質問は、電話では一切受け付けません。また、入力ミスへの修正対応はできません。
5. 筆頭報告者には、地域農林経済学会会員の資格および年会費の支払いが必要です。非会員の方には、個別報告の申込期限 (8月19日) までに、入会手続き (入会金と年会費の納入) をお願いします。入会手続き・年会費の支払い状況等については、学会Webサイト「入会・会員情報」・「会員管理」を参照ください。

#### (3) 個別報告で使用するプレゼンテーションファイル等に関して

1. 個別報告でPDF ファイルをプレゼンテーションに使用する場合

☆ プレゼンファイルは、PDFのみです。PowerPointなどで資料を作成される場合は、必ずPDFファイルに変換をしてください。

- ① 個別報告会場に備え付けのプロジェクトターとPC (OSはWindows) で報告していただきます。持ち込みPC、タブレット、OHP等は利用できません。



- ② プレゼンファイルは、10月18日（金）23時59分までに、上記URLから提出してください。締め切り以降は受け付けません。また、当日のファイルの差し替え等も受け付けるとはできません。会場でのPC使用の便宜のため、PDFファイルには、下記のように名前を付けてください。

例) 第3会場の第6報告の場合

(単独の場合) 0306p・農経花子.pdf (複数の場合) 0306p・農経花子他.pdf

- ③ ファイルの容量の上限は3MBです。3MBを超えるファイルは受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するなど工夫してください。

## 2. 個別報告で紙媒体を用いる場合

聴講者数分の部数を用意して、当日報告会場に持参してください(事務局では印刷は行いません)。

## 2. 個別報告論文としての投稿に関して

### 1. 個別報告でPDFファイルをプレゼンテーションに使用する場合

2. 大会終了後に個別報告の内容を「個別報告論文」として『農林業問題研究』に投稿する予定がある場合には、「個別報告論文投稿要領」（学会ウェブサイトに掲載）の2に従って、「個別報告論文予稿」を作成ください。なお、「個別報告論文予稿」を作成する際には、学会ウェブサイトに掲載されている「個別報告論文テンプレート」を必ず用いるとともに、8ページ以内に収まるようにしてください。

3. 作成した「個別報告論文予稿」は、10月18日（金）23時59分までに上記URLから提出してください（PDFファイルに変換のこと）。

なお、学会ウェブサイトの「研究大会」－「個別報告－申し込み要項」からも上記URLにリンクしていますので、そちらから利用して頂くことも出来ます。

- ★ 「個別報告論文予稿」を上記提出先に期限までに提出しない場合、個別報告論文の投稿が認められませんので、注意してください。

4. 個別報告論文予稿のPDFファイルには、下記のように名前を付けてください。

例) 第3会場の第6報告の場合

(単独の場合) 0306・農経花子.pdf (複数の場合) 0306・農経花子他.pdf

5. ファイルの容量の上限は、3MBです。3MBを超えるファイルは、受け付けることができませんので、図や写真を圧縮するなど工夫してください。

6. 大会終了後に提出して頂くことになる個別報告論文の投稿方法・締め切り等については、大会前に常任編集委員会から投稿案内がメールにて送付される予定です（学会ウェブサイトでも告知します）。個別報告論文の書き方・提出方法等については、学会ウェブサイトに掲載される「個別報告論文テンプレートファイル」および「個別報告論文投稿要領」に従ってください。

7. 連名報告での報告者の順番と、個別報告論文での執筆者の順番は、同じでなければなりませんので、ご注意ください。

## 3. 個別報告優秀賞の応募方法について

個別報告優秀賞に応募される方は、「個別報告論文予稿」の提出が必須です。「個別報告論文予稿」の提出がない場合には、審査の対象になりません。

個別報告を申し込まれる際に、「地域農林経済学会個別報告申請フォーム」の以下の3項目に必要事項を記入し送信してください。

- 【Ⅷ個別報告優秀賞への応募を希望しますか？】
- 【「はい」と希望した場合には、2024年10月26日時点での筆頭報告者の年齢を入力してください。】
- 【今回の応募は、研究論文等として投稿中の研究ではありませんね？】

なお、個別報告優秀賞への応募できるのは、大会初日の時点での筆頭報告者の年齢が37歳未満の場合です。また、すでに研究論文等として投稿中の研究は応募できません。ご注意ください。